

Cyber-shot

サイバーショット取扱説明書
はじめにお読みください

本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

「活用編・困ったときは」の3ページと103ページから105ページに、製品を安全にお使いいただくための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。ご使用の前によくお読みください。

© 2006 Sony Corporation Printed in Japan

2-673-200-01 (1)



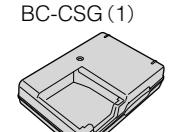
2673200010

この説明書は 100% 古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油型インキを使用しています。

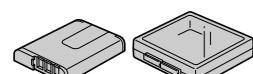


付属品の確認してください

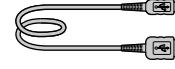
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
• バッテリーチャージャー BC-CSG(1)



• リチャージャブルバッテリー リーパック NP-BG1(1)/バッテリーケース(1)



• USBケーブル(1)



ご注意

- はじめてお使いになるときは、バッテリー（付属）を充電してください。
- 液晶画面は有効画素99,996以上で非常に高精度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

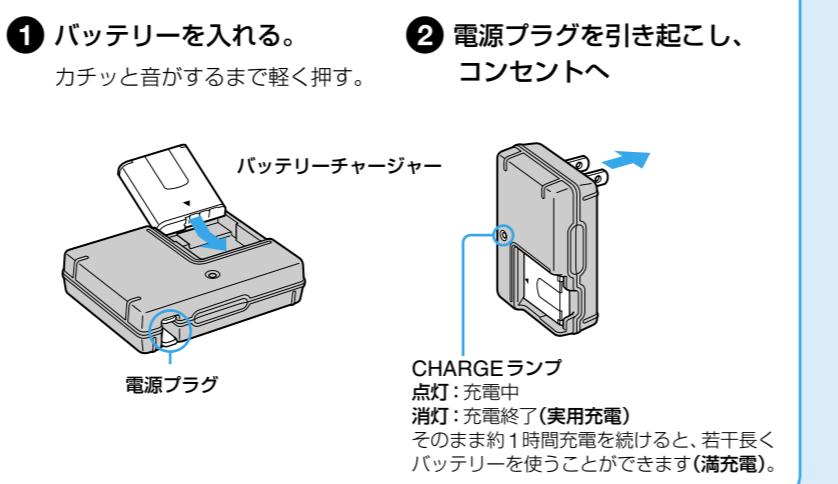


- 必ずソニー純正バッテリーをお使いください。

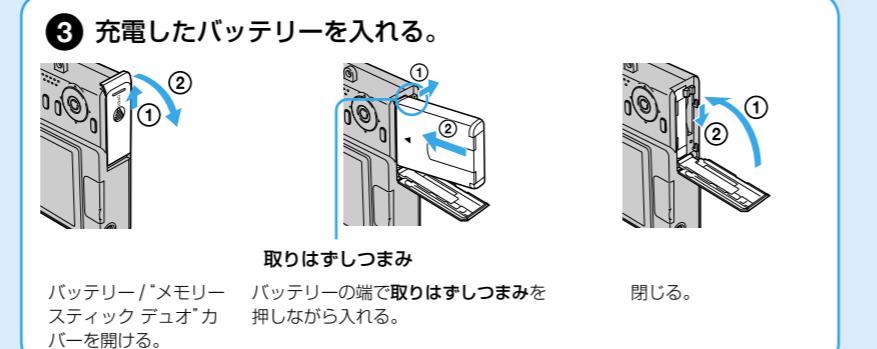
■ サイバーショット
オフィシャルWEBサイト
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

1 バッテリーを準備する



- バッテリーチャージャーは、お手軽なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消しても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25°Cでの満充電時間は約330分、実用充電時間は約270分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。



- 取りはずしちまみ
- バッテリーの端で取りはずしちまみを押しながら入れる。
- 閉じる。

コンセントの電源で本機を使うときは

ACアダプター AC-LS5K（別売）を使うと、コンセントについて使うことができます
→別冊「活用編・困ったときは」15ページ。

バッテリーの残量を確認するときは

POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

残量表示	[empty]	[battery]	[battery]	[battery]	[battery]
バッテリー残量の目安	充分ある	少なくなった	撮影、再生がもうすぐできなくなる	充電済みのバッテリーと交換するか、充電する（警告表示が点滅）	

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

取りはずしちまみをすらし、バッテリーが落下しないように注意しながら引き出す。



海外で使うときは

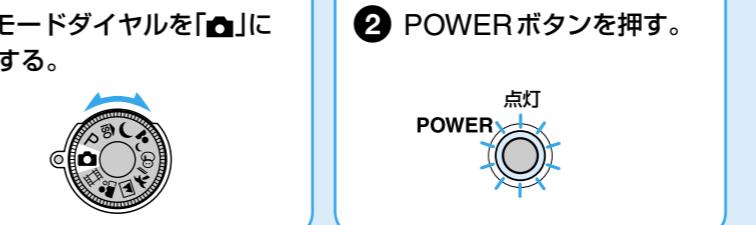
バッテリーチャージャーやACアダプター AC-LS5K（別売）は全世界（AC100V～240V・50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねのうえ、ご用意ください。

- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてお使いください。

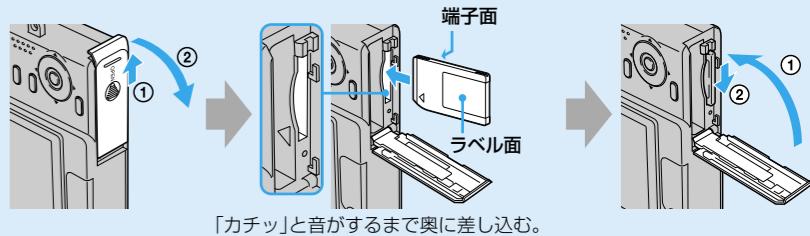
コンセントの形状例	[US]	[EU]	[UK]
主に北米	[US plug icon]	[EU plug icon]	[UK plug icon]
主にヨーロッパなど			

変換プラグアダプター	不要	[EU/UK plug icon]

2 電源を入れ、時計を合わせる

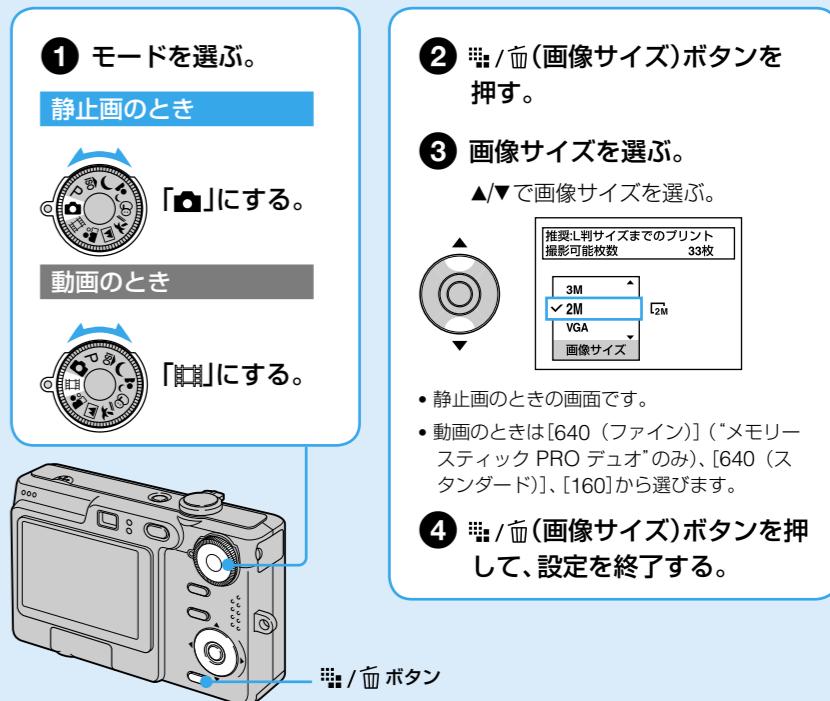


3 “メモリースティック デュオ”(別売)を入れる



「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。
「メモリースティック デュオ」が挿入されていないときは
本機の内蔵メモリー（32MB）に画像を記録/再生します。→別冊「活用編・困ったときは」23ページ

4 用途に合わせて画像サイズを決める



静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」12ページ
お買い上げ時の設定はで示しています。

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
6M	A4サイズまでのプリント	少ない	精細
3:2 ¹⁾	縦横比3:2での撮影		
3M	2L判サイズまでのプリント		
2M	L判サイズまでのプリント		
VGA	Eメールでの送付など		
16:9 ²⁾	ハイビジョンTVでの鑑賞 ³⁾		

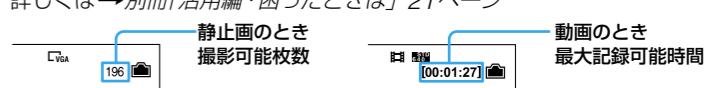
1) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じ3:2の縦横比で撮影します。

2) プリント時に両端が切れることができます。→別冊「活用編・困ったときは」88ページ

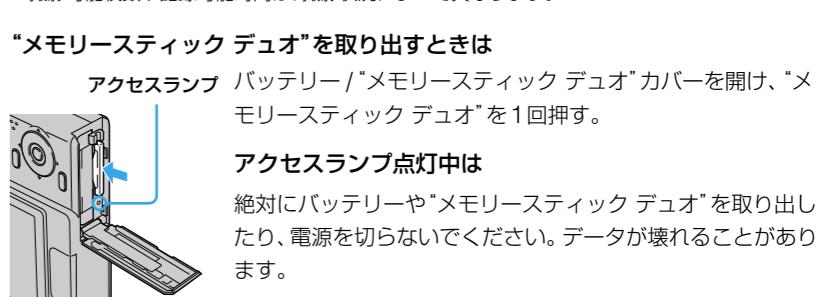
3) メモリースティックスロットやUSB経由で接続すると、より高画質でお楽しみいただけます。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

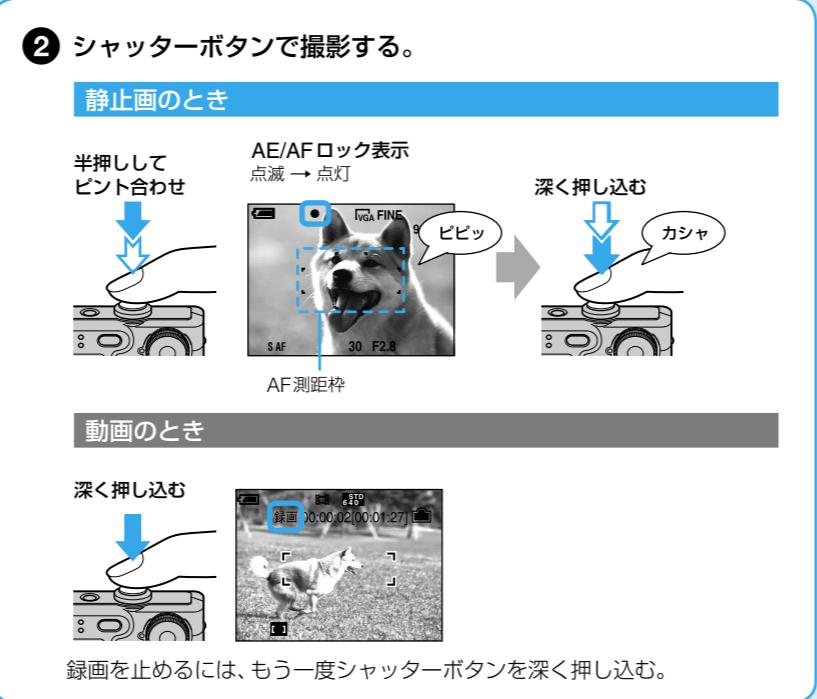
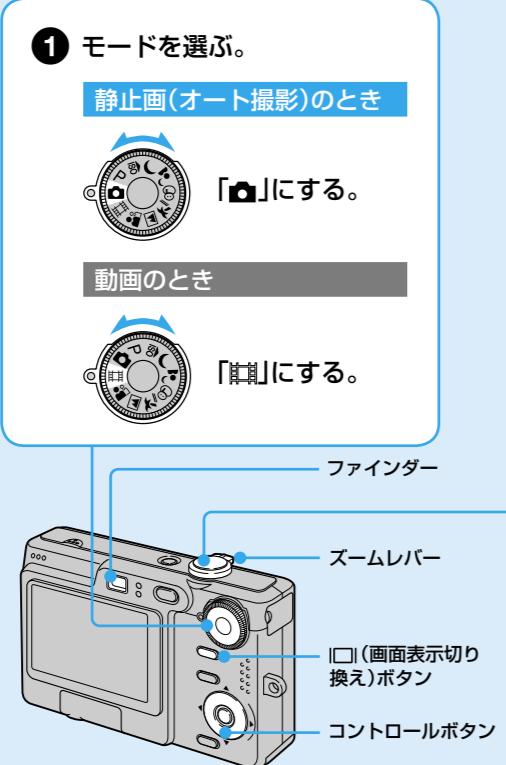
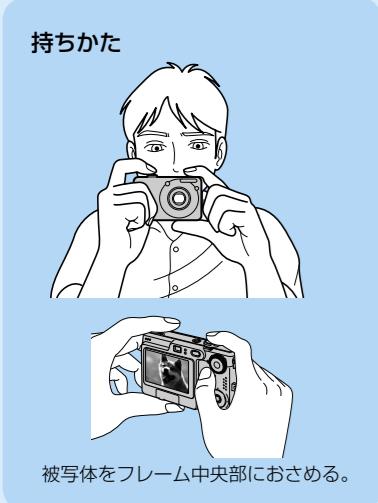
画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」21ページ



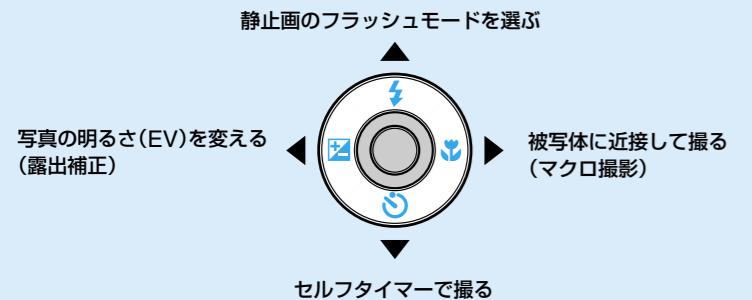
• 撮影可能枚数や記録可能時間は、撮影状況によって異なります。



5 簡単に撮る(オート撮影)



コントロールボタンの機能を使うには



ズームするには



- レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
[デジタルズーム]の種類と画質について→別冊「活用編・困ったときは」44ページ
- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。

写真の明るさを変える(露出補正)

手順②の前に、コントロールボタンの
◀(▲)を押す。

▲(明るくなる)/▼(暗くなる)で調節する。

表示されたバーを消すには、もう一度◀
を押す。



- 1/3EV単位で、明るさ(露出値)を設定できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。
- 露出について、詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」11ページ

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲
を押す。押すごとに、設定が変わる。



- 表示なし フラッシュオート
光量不足または逆光と判別したとき発光(お買い上げ時の設定)
- フラッシュ強制発光

- SL スローシンクロ(強制発光)
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

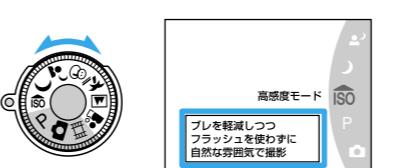
- フラッシュ発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]のとき)
W側: 約0.2 ~ 4.2m
T側: 約0.3 ~ 2.2m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

- セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、手ぶれが起こりにくくなります。

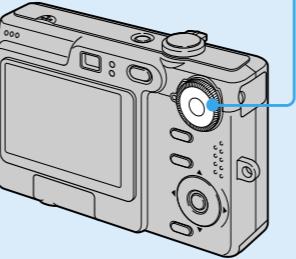
場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)

① シーンセレクションのモードを選ぶ。



- 撮影モードについては、下をご覧ください。

② 撮影する。



機能ガイドについて

機能の説明が表示され、数秒後に自動的に消えます。

機能ガイドをすぐに消したいときは、シャッターボタンを半押しする。

■(セットアップ)画面で、機能ガイドを表示させないようにすることもできます。

→別冊「活用編・困ったときは」45ページ

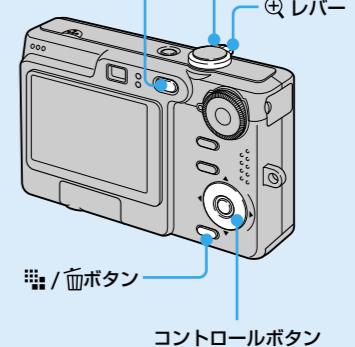
シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルをシーンセレクション以外のモードに合わせる。

6 画像を見る/削除する

① □(再生)ボタンを押す。

- 電源が入っていない状態でも□(再生)ボタンを押すと、電源が入り再生モードになります。



撮影モードに戻るには

- もう一度□(再生)ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押しする。
- モードダイヤルを切り換える。

② ◀(前)/▶(次)で画像を選ぶ。



静止画の場合: 画像サイズを表示
動画の場合: □を表示

動画を再生するには

- を押す。
- 早送り/巻き戻し: ◀/▶ (通常再生に戻るには●)
- 音量調整: ▲/▼
- 再生中止: ●

画像を削除するには

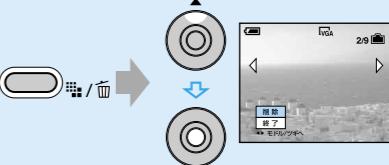
- 削除したい画像を表示して■/▲(削除)ボタンを押す。

- ▲で[削除]を選び、●を押す。

画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して■/▲(削除)ボタンを押す。

- ▲で[削除]を選び、●を押す。



削除を中止するには
[終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(再生ズーム)

静止画を再生中に④レバーをすらすと、ズームできる。④レバーで戻る。

ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶

ズーム中止: ●

拡大した画像を保存するには: [トリミング]→別冊「活用編・困ったときは」42ページ

一覧(インデックス)表示で見るときは

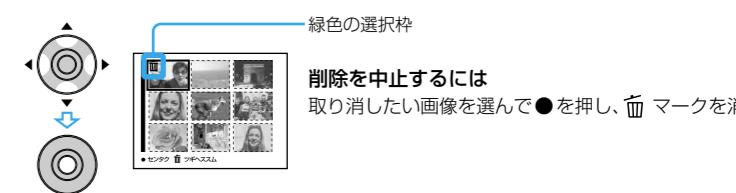
■(インデックス)レバーをすらし、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀▶を押し続けると、次の画面に移る。



一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び●を押す。

- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して▲(削除)マークを付ける。



削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、▲マークを消す。

- /▲(削除)ボタンを押す。

- ▶で[実行]を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順②で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ビビビと音が鳴ります→別冊「活用編・困ったときは」26ページ。